

地域に伝わる伝説や民話、文化財などを紹介

にしあいづ物語100選 その42

文：折笠 ただす 匡

はたお 機織り滝

青坂地区より北東の方1km程のところに滝沢川があります。水の流れる様子が機織りの縦糸を長く並べたように見えるところから、「機織り滝」の名が付けられたとされています。

その昔、この滝から不動川（切り石川）を渡ると大畑地区がありました。時折、大畑の上の女房沢の奥から夕暮れになると1人の化生（バケモノ）の女房が現れ、「はたおり」を始めるのを見かけることがありました（「女房沢」は今では正式な字名となっています）。

機織り滝の長さはおよそ10mで、平たい滑らかな岩盤は緑色に帯びた青色で、綺麗な色に輝いています。この辺り一帯の代表的な石が「甲石」で、地元（特に縄沢）では「若草石」として切り出し、出荷して生計を立てていました。



さて、機織り滝の周辺は草だらけでしたが、刈り払いをして何とか見られるようになりました。今でも面影が残っているので行ってみるとよいでしょう。夕暮れ時、暗くなってから行くと、はたおりをしている化生の女房に遭遇して、涼しい気分になってしまうかも……。

今月の表紙

今月は、特集でも取り上げた「会津地方防災訓練並びに西会津町総合防災訓練」より。通常とは違ったコロナ禍を想定した防災訓練となり、今までは異なる防災対策が必要となることを再確認しました。（2ページに関連記事）

編集後記

8月末、町民の方から「あのこの田んぼで稲刈りをやっていた。西会津一早いんじゃないか？」と連絡をいただき、写真を撮ろうとカメラを片手に早速現地へ。しかし、到着した時にはすでに刈り終わった後でした。残念……。

広報を作成しているとどうしてもスペースが余ってしまふことがあります。そういうスペースにちよつとした話題や写真なども載せていきたいと思ひますので、もしオススメの話題やスポットなどがあれば、企画情報課の秦までお気軽にお寄せください。（秦）